



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2015年10月29日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、11月10日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

2015年度第3四半期に売上高と1株当たり事業純利益⁽¹⁾の成長を達成

米国での糖尿病領域の売上高減少にもかかわらず、幅広い売上高の成長を達成

- グループの売上高⁽²⁾は、3.4%増(為替調整前9.2%増)の95億9,100万ユーロ
- 糖尿病領域の売上高は、米国でLantus[®](ランタス)の売上高が減少した結果、6.6%減
- ジェンザイムの売上高(32.7%増)は、多発性硬化症製品に牽引され、勢いを維持
- ワクチンの売上高は、主に新興市場⁽³⁾に牽引され5.5%増
- 動物用医薬品は、NexGard[®](ネクスガード)に牽引され、今期も好業績を達成(9.3%増)
- 新興市場の売上高は11.4%増

新製品への投資増加を受けて、安定した財務業績を達成

- 営業費は、CERベースで7.5%増の38億1,600万ユーロ
- 事業純利益は、CERベースで5.0%増(為替調整前8.3%増)の20億9,600万ユーロ
- 1株当たり事業純利益は、CERベースで6.1%増(為替調整前9.5%増)の1.61ユーロ
- 後発事象として、昨日発表した米国およびカナダでのAuvi-Q[®]およびAllerject[®]の自主回収の財務への影響を現在評価中であり、2015年度第4四半期に計上予定。初期の見積もりでは、事業純利益に約1億ユーロのマイナス影響がある見通し

革新的製品が大きく前進

- Praluent[®]が7月に米国で発売され、欧州連合(EU)での最初の発売が進行中
- リキシセナチドの新薬承認申請が審査に向けて米国食品医薬品局(FDA)に受理される
- 2型糖尿病におけるLixiLanの2件目の第III相試験が主要評価項目を達成

2015~2018年の糖尿病領域の展望

- 最近の市場動向を考慮し、サノフィは現時点で、2015~2018年の世界的な糖尿病領域の売上高がCERベースの年率平均で4~8%減少すると予測しています。サノフィは、2018年までにこの売上予測の修正による事業営業利益への影響を緩和し、2015年11月6日に当グループの中期的戦略と財務見通しを発表する予定です。

2015年度通年の財務見通し

- 重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2015年度通年の1株当たり事業純利益⁽¹⁾は2014年度⁽⁴⁾比で微増(為替レート変動の影響を除く)すると予測します。
- また、第4四半期の為替レートが2015年9月の平均レート並みであることを前提とすると、6~8%程度の為替レート変動のプラス影響が2015年度通年の1株当たり事業純利益に生じると予測されます。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
www.sanofi.co.jp

サノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディケールのコメント:

「サノフィ・グループは、ジェンザイム、ワクチン、および新興市場の堅調な業績に牽引され、第 3 四半期に売上高と利益の両方で成長を達成しました。同時に、将来を見据えてサノフィの強化を図るため、大規模な投資を継続しています。Aubagio[®]、NexGard[®](ネクスガード)、Lemtrada[®]、Toujeo[®](ランタス XR)などの新製品の採用が徐々に進んでおり、また、最近 Praluent[®]を発売したことで、当社は、革新的な医薬品を患者さんに届けるというミッションの重要なマイルストーンを達成しました。糖尿病領域では逆風を受けていますが、私たちはサノフィの長期的な可能性を確信しており、2015 年 11 月 6 日には、当グループのロードマップを発表する予定です」

(1) 当グループの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益は、GAAP(一般会計原則)に調整を加えた財務指標です(財務指標の定義は付録 8 を参照)。2015 年度第 3 四半期の連結損益計算書については付録 4 に、事業純利益から IFRS 純利益への調整については付録 3 に記載しています。(2) 特に指定のない限り、純売上高の変動率は為替レート変動の影響を除いて(CER)算出(定義は付録 8 を参照)(3) 8 ページを参照(4) 2014 年度の 1 株当たり事業純利益は 5.20 ユーロ

2015 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の主要データ

	2015 年度 第 3 四半期	前年同期比 (為替 調整前)	前年同期比 (CER)	2015 年度 年初から 9 カ月間	前年同期比 (為替 調整前)	前年同期比 (CER)
純売上高	€9,591m	+9.2%	+3.4%	€27,779m	+12.5%	+3.6%
事業純利益 ⁽¹⁾	€2,096m	+8.3%	+5.0%	€5,662m	+12.8%	+3.7%
1 株当たり事業純利益⁽¹⁾	€1.61	+9.5%	+6.1%	€4.33	+13.6%	+4.5%
IFRS 純利益(為替調整前)	€1,628m	+36.8%		€3,953m	+29.6%	
IFRS 1 株当たり純利益 (為替調整前)	€1.25	+37.4%		€3.03	+30.6%	

2015 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の売上高

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高の変動率は為替レート変動の影響を排除して⁽¹⁾算出しています。

2015 年度第 3 四半期における売上高は、前年同期比(為替調整前)9.2%増の 95 億 9,100 万ユーロとなりました。為替レートの変動により、主に対ユーロでの米ドルおよび中国元の上昇によってベネズエラ・ボリバル、ブラジル・リアル、およびロシア・ルーブルのマイナス影響が相殺され、5.8 ポイントのプラス影響を受けました。為替レート変動の影響を排除した場合の売上高は、3.4%増でした。

年初からの売上高は、前年同期比(為替調整前)12.5%増の 277 億 7,900 万ユーロとなりました。為替レートの変動により、8.9 ポイントのプラス影響を受けました。

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 3 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 年初から 9 カ月間 純売上高	前年同期比 (CER)
医薬品⁽⁵⁾	7,267	+2.6%	22,522	+2.8%
糖尿病	1,852	-6.6%	5,677	-4.6%
ジェンザイム	923	+32.7%	2,651	+30.0%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	814	+3.2%	2,683	+3.3%
ジェネリック医薬品	452	+6.7%	1,450	+8.7%
オンコロジー	376	+5.4%	1,123	+0.5%
エスタブリッシュ処方製品	2,846	+0.1%	8,934	+0.6%
ワクチン	1,717	+5.5%	3,301	+4.0%
動物用医薬品	607	+9.3%	1,956	+12.4%
純売上高合計	9,591	+3.4%	27,779	+3.6%

医薬品

2015 年度第 3 四半期における医薬品事業の売上高は、主にジェンザイムによる好業績が糖尿病領域の売上高減少によって部分的に相殺され、2.6%増の 72 億 6,700 万ユーロとなりました。年初からの医薬品事業の売上高は、2.8%増の 225 億 2,200 万ユーロでした。

⁽¹⁾ 財務指標の定義については、付録 8 をご参照ください。

⁽⁵⁾ 2015 年度第 3 四半期の Praluent[®]の売上高 400 万ユーロを含む

糖尿病領域

(単位:100万ユーロ)	2015年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015年度 年初から9カ月間 純売上高	前年同期比 (CER)
Lantus [®] (ランタス)	1,561	-10.8%	4,854	-7.3%
Amaryl [®] (アマリール)	93	+5.7%	299	+2.2%
Apidra [®] (アピドラ)	88	-4.5%	272	+5.4%
Toujeo [®] (ランタス XR)	46	-	66	-
Insuman [®]	36	+8.8%	103	+4.0%
BGM(血糖測定器)	15	+7.1%	47	+2.2%
Lyxumia [®] (リクスミア)	9	+25.0%	27	+42.1%
Afrezza [®]	2	-	5	-
糖尿病領域合計	1,852	-6.6%	5,677	-4.6%

第3四半期における**糖尿病領域**の売上高は、米国で Lantus[®](ランタス)の売上高が減少したことを反映し、6.6%減の18億5,200万ユーロとなりました。米国における糖尿病領域の売上高は、16.4%減の10億7,500万ユーロでした。米国以外の糖尿病領域の売上高は、8.1%増の7億7,700万ユーロでした。新興市場の好業績(15.5%増の3億7,300万ユーロ)は、主にグラルギンのバイオシミラー製剤との競合を受けた西欧諸国(0.3%減の2億9,600万ユーロ)の前年同期並みの売上高によって緩和されました。年初からの糖尿病領域の売上高は、4.6%減の56億7,700万ユーロでした。

糖尿病領域における最近の売上傾向と市場動向を考慮し、サノフィは現時点で、2015年度に糖尿病の世界売上高が6~7%(為替レート変動の影響を除く)減少すると予測しています。最近の市場動向を考慮し、サノフィは現時点で、2015~2018年の世界的な糖尿病領域の売上高が年率平均で4~8%減少すると予測しています。この修正の半分程度はインスリン グラルギンに関連しており、残りの半分は Afrezza[®]、Lyxumia[®](リクスミア)、および BGM(血糖測定器)の減少が見込まれることに関連しています。サノフィは、2018年までにこの売上予測の修正による事業営業利益への影響を緩和し、2015年11月6日に当グループの中期的戦略と財務見通しを発表する予定です。

第3四半期における Lantus[®](ランタス)の売上高は、10.8%減の15億6,100万ユーロでした。Lantus[®](ランタス)の米国での売上高は、前年同期と比較して基礎インスリン市場の成長が鈍化し、前年と比較して同製品についての更なる値引き、またメディケイドなどの政府系チャネルで製品構成が不利となった影響を受けて、19.6%減の9億9,700万ユーロとなりました。期中における同製品の西欧諸国での売上高は、1.4%減の2億2,200万ユーロとなりました。第3四半期に、複数の欧州市場(ドイツ、英国、オランダ、デンマークを含む)および日本において Lantus[®](ランタス)のバイオシミラー製剤がイーライリリー社より発売されました。第3四半期における Lantus[®](ランタス)の新興市場での売上高は、中国に牽引され、15.8%増の2億6,000万ユーロとなりました。年初からの Lantus[®](ランタス)の売上高は、7.3%減の48億5,400万ユーロでした。

9月、サノフィはイーライリリー社と和解契約を締結しました。この契約は、リリー社が Lantus SoloSTAR[®](ランタス注ソロスター)と競合する製品の薬事承認を求めたことによる米国での特許侵害訴訟を解決するものです。サノフィとリリー社は、当該訴訟を終結させ、世界中の同様の紛争を終了させることで合意しました。同契約に基づき、リリー社はサノフィの特定の特許のライセンスを受ける代わりにサノフィにロイヤリティを支払います。米国では、リリー社は2016年12月15日までインスリン グラルギンを販売しません。

3月末、次世代の基礎インスリンである Toujeo[®](ランタス XR)が米国市場で発売され、短期間で Lantus[®](ランタス)に匹敵する市場アクセスを獲得しています。発売後2四半期が過ぎましたが、Toujeo[®](ランタス XR)は有望な業績を上げています。同製品は、糖尿病領域のアナログ製剤の発売時と比べて良好な傾向を示しており、現在、米国のIMS基礎インスリン市場 NBRx(新規ブランド処方薬)で14%のシェアを獲得しています。4月にEMA承認を取得した Toujeo[®](ランタス XR)は、最近、ドイツ、英国、オランダ、および複数の北欧諸国で発売され、その普及率は有望な徴候を示しています。Toujeo[®](ランタス XR)は、最近、日本とカナダでも発売されました。2015年度第3四半期の同製品の売上高は、同年第2四半期の1,300万ユーロに対し、4,600万ユーロとなりました。2015年度年初から9カ月間の Toujeo[®](ランタス XR)の売上高は、6,600万ユーロでした。

第3四半期における **Amaryl[®]** (アマリール) の売上高は、5.7%増の 9,300 万ユーロであり、そのうち 7,500 万ユーロ (13.6%増) が新興市場で計上されました。年初からの **Amaryl[®]** (アマリール) の売上高は、2.2%増の 2 億 9,900 万ユーロでした。第3四半期における **Apidra[®]** (アピドラ) の売上高は、米国での売上高減少 (17.1%減の 3,400 万ユーロ) を反映し、4.5%減の 8,800 万ユーロとなりました。新興市場での **Apidra[®]** (アピドラ) の売上高は、16.7%増の 1,900 万ユーロでした。

年初からの **Apidra[®]** (アピドラ) の売上高は、5.4%増の 2 億 7,200 万ユーロでした。**Afrezza[®]** の第3四半期の売上高は 200 万ユーロ、年初から 9 カ月間の売上高は 500 万ユーロでした。

Praluent[®]

9 月、欧州委員会は、低比重リポ蛋白 (LDL) コレステロール値の上昇を特徴とする高コレステロール血症の成人患者の治療薬として、**Praluent[®]** (一般名: alirocumab、Regeneron 社と共同開発中) の販売を承認しました。この承認は、2015 年 7 月 24 日の FDA 承認に続くものです。**Praluent[®]** は 7 月に米国で発売され、幅広い医療界で市場アクセスと認知度が向上しており、徐々に普及が進むものと期待されます。初期市場アクセスに関する成功の一例として、**Express Scripts** が **Praluent[®]** を優先ブランド医薬品の Tier 2 フォーマularyに加えたことが挙げられます。2015 年度第3四半期における **Praluent[®]** の売上高は、400 万ユーロでした。

ジェンザイム

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 年初から 9 カ月間 純売上高	前年同期比 (CER)
Cerezyme [®] (セレザイム)	189	+5.1%	577	+5.4%
Myozyme [®] (マイオザイム) / Lumizyme [®]	162	+10.9%	483	+14.5%
Fabrazyme [®] (ファブラザイム)	147	+18.1%	434	+16.0%
Aldurazyme [®] (アウドラザイム)	48	+14.6%	146	+9.4%
Cerdelga [®] (サデルガ)	18	-	44	-
希少疾患合計	630	+13.0%	1,890	+12.6%
Aubagio [®]	225	+78.6%	599	+81.9%
Lemtrada [®]	68	-	162	-
多発性硬化症合計	293	+120.2%	761	+119.0%
ジェンザイム合計	923	+32.7%	2,651	+30.0%

第3四半期におけるジェンザイムの売上高は、**Aubagio[®]** の好業績と **Lemtrada[®]** の発売の拡大に牽引され、32.7%増の 9 億 2,300 万ユーロとなりました。ジェンザイムは、今期もすべての地域で 2 桁成長を記録しました。売上高は、米国では 40.2%増の 4 億 3,100 万ユーロ、西欧諸国では 29.5%増の 2 億 7,100 万ユーロ、新興市場では 27.7%増の 1 億 3,500 万ユーロでした。年初からのジェンザイムの売上高は、30.0%増の 26 億 5,100 万ユーロとなりました。

第3四半期における希少疾患製品の売上高は、13.0%増の 6 億 3,000 万ユーロとなりました。

第3四半期における**ゴーシェ病**フランチャイズの売上高は、14.3%増の 2 億 700 万ユーロでした。米国での同フランチャイズの売上高は、25.0%増の 7,100 万ユーロでした。**Cerezyme[®]** (セレザイム) の売上高は、新興市場 (20.0%増の 6,200 万ユーロ) に支えられ、5.1%増の 1 億 8,900 万ユーロとなりました。ゴーシェ病 1 型成人患者のための唯一の経口第一選択治療薬である **Cerdelga[®]** (サデルガ) の発売とそれに伴う治療薬切り替えから、**Cerezyme[®]** (セレザイム) の米国での売上高は、4.2%減となりました。第3四半期における **Cerdelga[®]** (サデルガ) の売上高は、1,800 万ユーロであり、そのうち 1,600 万ユーロを米国の売上高が占めました。年初からの売上高は、**Cerezyme[®]** (セレザイム) は 5.4%増の 5 億 7,700 万ユーロ、**Cerdelga[®]** (サデルガ) は 4,400 万ユーロとなりました。

第3四半期における **Fabrazyme[®]** (ファブラザイム) の売上高は、18.1%増の 1 億 4,700 万ユーロでした。新規治療患者の増加を反映し、同製品は、すべての地域で好業績を記録しました。売上高は、米国では 12.1%増の 7,600 万ユーロ、西欧諸国では 21.4%増の 3,400 万ユーロ、新興市場では 30.8%増の 1,500 万ユーロ、その他の地域では 23.5%増の 2,200 万ユーロでした。年初からの **Fabrazyme[®]** (ファブラザイム) の売上高は、16.0%増の 4 億 3,400 万ユーロとなりました。

第3四半期における Myozyme[®](マイオザイム)/Lumizyme[®]の売上高は、新規治療患者の継続的な増加に支えられた米国(25.7%増の5,100万ユーロ)に牽引され、10.9%増の1億6,200万ユーロとなりました。新興市場での売上高は8.7%増の2,500万ユーロ、西欧諸国での売上高は7.2%増の7,500万ユーロでした。年初からの Myozyme[®](マイオザイム)/Lumizyme[®]の売上高は、14.5%増の4億8,300万ユーロとなりました。

第3四半期における多発性硬化症治療薬の売上高は、120.2%増の2億9,300万ユーロでした。

第3四半期における Aubagio[®]の売上高は、米国(54.0%増の1億5,900万ユーロ)およびフランスの好業績に支えられた西欧諸国(前年同期の1,800万ユーロに対し5,200万ユーロ)の売上高に牽引され、78.6%増の2億2,500万ユーロとなりました。10月、欧州多発性硬化症治療・研究会議(ECTRIMS: European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis)で発表された TEMSO 試験の磁気共鳴画像(MRI)データは、再発性多発性硬化症患者さんにおいて、Aubagio[®]が2年間に亘り、プラセボと比較して脳容積の減少(萎縮)を有意に遅らせたことを示しています。年初からの Aubagio[®]の売上高は、81.9%増の5億9,900万ユーロとなりました。

第3四半期における Lemtrada[®]の売上高は、6,800万ユーロであり、そのうち3,900万ユーロが米国で、2,200万ユーロが西欧諸国(主にドイツと英国)で計上されました。ECTRIMS で発表された長期延長試験の研究データは、再発寛解型多発性硬化症患者の大部分において、治療効果が5年間に亘り維持されたことを示しており、Lemtrada[®]の価値提案を裏付けています。年初からの Lemtrada[®]の売上高は、前年同期の1,800万ユーロに対し、1億6,200万ユーロとなりました。

コンシューマー・ヘルスケア

(単位:100万ユーロ)	2015年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015年度 年初から9カ月間 純売上高	前年同期比 (CER)
Allegra [®] (アレグラ)	91	+11.5%	349	+11.6%
Doliprane [®]	65	-12.2%	220	-5.2%
Essentiale [®]	46	-1.9%	141	-9.2%
Enterogermina [®]	33	-25.0%	126	0.0%
Lactacyd [®] (ラクタシード)	26	+37.5%	94	+14.8%
Nasacort [®]	27	+4.3%	101	-6.6%
No Spa [®]	22	-12.9%	66	-6.0%
Maalox [®]	21	+8.7%	75	+8.2%
Dorflex [®]	21	+55.6%	64	+7.4%
Magne B6 [®]	21	0.0%	62	+9.1%
その他の CHC 製品	441	+5.0%	1,385	+4.9%
コンシューマー・ヘルスケア合計	814	+3.2%	2,683	+3.3%

第3四半期におけるコンシューマー・ヘルスケア(CHC)製品の売上高は、Allegra[®](アレグラ)、Lactacyd[®](ラクタシード)、および Dorflex[®]に牽引され、3.2%増の8億1,400万ユーロとなりました。CHC製品の米国での売上高は、10.8%増の2億900万ユーロでした。CHC製品の新興市場での売上高は、前年同期の比較基準が低くなったことから恩恵を受けたブラジルの売上高の増加が中国の売上高減少によって部分的に相殺され、2.0%増の3億9,300万ユーロとなりました。西欧諸国の売上高は、2015年1月のフランスにおける Doliprane[®]の価格引き下げを受けて、7.6%減の1億4,600万ユーロとなりました。その他の地域の売上高は、オーストラリアの好業績を反映し、20.7%増の6,600万ユーロでした。年初からの CHC の売上高は、3.3%増の26億8,300万ユーロとなりました。

ジェネリック医薬品

第3四半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、米国における Lovenox[®]のオーソライズドジェネリック医薬品と、2015年度第2四半期末に日本でサノフィとパートナーの日医工株式会社が発売した Plavix[®](プラビックス)のオーソライズドジェネリック医薬品の売上高に牽引され、6.7%増の4億5,200万ユーロとなりました。新興市場でのジェネリック医薬品の売上高は4.5%増の2億6,200万ユーロ、西欧諸国での売上高は5.6%

増の 1 億 3,500 万ユーロでした。年初からのジェネリック医薬品の売上高は、8.7%増の 14 億 5,000 万ユーロとなりました。

オンコロジー製品

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 3 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 年初から 9 カ月間 純売上高	前年同期比 (CER)
Jevtana [®] (ジェブタナ)	78	+9.0%	237	+10.1%
Thymoglobulin [®] (サイモグロブリン)	63	+5.6%	187	+3.8%
Taxotere [®] (タキソテール)	58	-3.4%	173	-17.9%
Eloxatin [®]	58	+27.9%	169	+12.5%
Mozobil [®]	36	+13.8%	105	+17.5%
Zaltrap [®]	19	0.0%	59	+12.2%
オンコロジー製品合計	376	+5.4%	1,123	+0.5%

第 3 四半期におけるオンコロジー製品の売上高は、中国と米国の Eloxatin[®]、米国と日本の Jevtana[®](ジェブタナ)に牽引され、5.4%増の 3 億 7,600 ユーロとなりました。年初からのオンコロジー製品の売上高は、0.5%増の 11 億 2,300 万ユーロでした。

第 3 四半期における Jevtana[®](ジェブタナ)の売上高は、米国(13%増の 3,200 万ユーロ)および 2014 年 9 月に同製品が発売された日本に牽引され、9.0%増の 7,800 万ユーロとなりました。年初からの Jevtana[®](ジェブタナ)の売上高は、10.1%増の 2 億 3,700 万ユーロでした。

Thymoglobulin[®](サイモグロブリン)の第 3 四半期の売上高は 5.6%増の 6,300 万ユーロ、年初から 9 カ月間の売上高は 3.8%増の 1 億 8,700 万ユーロでした。

第 3 四半期における Eloxatin[®]の売上高は、中国と米国に支えられ、27.9%増の 5,800 万ユーロとなりました。期中における Taxotere[®](タキソテール)の売上高は、主に日本でのジェネリック医薬品との競争を反映し、3.4%減の 5,800 万ユーロとなりました。年初からの Eloxatin[®]の売上高は、12.5%増の 1 億 6,900 万ユーロ、Taxotere[®](タキソテール)の売上高は、17.9%減の 1 億 7,300 万ユーロでした。

Mozobil[®]の第 3 四半期の売上高は 13.8%増の 3,600 万ユーロ、年初から 9 カ月間の売上高は 17.5%増の 1 億 500 万ユーロでした。

エスタブリッシュ処方製品

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 3 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 年初から 9 カ月間 純売上高	前年同期比 (CER)
Plavix [®] (プラビックス)	446	-5.3%	1,474	-0.4%
Lovenox [®]	429	+0.9%	1,300	+0.6%
Renvela [®] /Renagel [®] (レナジェル)	239	+27.8%	696	+27.0%
Aprovel [®] /Avapro [®]	167	-8.4%	592	-2.4%
Synvisc [®] (サイビスク)/Synvisc-One [®]	96	-2.3%	297	+1.6%
Multaq [®]	86	-2.6%	256	+0.9%
Myslee [®] (マイスリー)/Ambien [®] /Stilnox [®]	72	-9.0%	221	-9.2%
Allegra [®] (アレグラ)	33	0.0%	150	-5.3%
その他	1,278	+0.4%	3,948	-1.2%
エスタブリッシュ処方製品合計	2,846	+0.1%	8,934	+0.6%

第 3 四半期におけるエスタブリッシュ処方製品の売上高合計は、前年同期並み(0.1%増)の 28 億 4,600 万ユーロでした。

第3四半期における **Plavix[®]** (プラビックス) の売上高は、2015年6月に日本で生じたジェネリック医薬品との競合(日本での売上高は24.7%減の1億4,500万ユーロ)を中国(17.6%増)および中東での好業績が部分的に相殺したことを反映し、5.3%減の4億4,600万ユーロとなりました。年初からの **Plavix[®]** (プラビックス) の売上高は、0.4%減の14億7,400万ユーロでした。

第3四半期における **Lovenox[®]** の売上高は、0.9%増の4億2,900万ユーロでした。同製品は、アフリカ、中東、ブラジルに牽引された新興市場で好業績(17.0%増の1億6,700万ユーロ)を記録し、これによって米国(61.8%減の1,600万ユーロ)でのジェネリック医薬品との競合の影響が相殺されました。西欧諸国での売上高は、0.9%減の2億2,100万ユーロでした。サノフィは、競合他社がエノキサパリンのバイオシミラー製剤に関する販売承認申請を欧州の保健当局に提出したことを認識しています。年初からの **Lovenox[®]** の売上高は、0.6%増の13億ユーロでした。

第3四半期における **Renvela[®]/Renagel[®]** (レナジェル) の売上高は、Impax社に付与されたジェネリック医薬品の **Renvela[®]** 錠の割り当てが限定的であったため、前年同期の比較基準が低くなったことから恩恵を受けた米国(56.3%増の1億9,100万ユーロ)の成長に牽引され、27.8%増の2億3,900万ユーロとなりました。**Renvela[®]/Renagel[®]** (レナジェル) の新興市場での売上高は28.6%減の1,500万ユーロ、西欧諸国における売上高は18.8%減の2,600万ユーロでした。ジェネリック医薬品は現在、一部の欧州諸国で販売されており、サノフィは、今後も米国でジェネリック医薬品が承認されるものと予測しています。年初からの **Renvela[®]/Renagel[®]** (レナジェル) の売上高は、27.0%増の6億9,600万ユーロでした。

第3四半期における **Aprovel[®]/Avapro[®]** の売上高は、西欧諸国(22.0%減の3,200万ユーロ)でのジェネリック医薬品との競合を反映し、8.4%減の1億6,700万ユーロとなりました。新興市場での同製品の売上高は、3.0%減の9,700万ユーロとなりました。中国の業績は、中南米によって部分的に相殺されました。年初からの **Aprovel[®]/Avapro[®]** の売上高は、2.4%減の5億9,200万ユーロでした。

ワクチン

(単位:100万ユーロ)	2015年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015年度 年初から9カ月間 純売上高	前年同期比 (CER)
インフルエンザワクチン (Vaxigrip [®] とFluzone [®] を含む)	736	+0.3%	872	-7.1%
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ) ワクチン (Pentacel [®] 、Pentaxim [®] 、およびImovax [®] (イモバックス)ポリオを含む)	327	+17.8%	882	+5.2%
髄膜炎・肺炎ワクチン (Menactra [®] (メナクトラ)を含む)	260	+17.8%	502	+18.5%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン (Adacel [®] を含む)	133	-9.9%	346	+1.4%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用 ワクチン	96	-8.1%	275	-8.7%
その他のワクチン	165	+15.7%	424	+32.8%
ワクチン合計 (連結売上高)	1,717	+5.5%	3,301	+4.0%

第3四半期におけるサノフィパストールの連結売上高は、新興市場のポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチン、米国の **Menactra[®]** (メナクトラ)、および **VaxServe** (米国でワクチンを供給するサノフィパストールの関連会社) に牽引され、5.5%増の17億1,700万ユーロとなりました。第3四半期におけるサノフィパストールの米国での売上高は6.5%増の11億9,800万ユーロ、新興市場での売上高は22.3%増の3億5,800万ユーロとなりました。年初からのサノフィパストールの連結売上高は、4.0%増の33億100万ユーロでした。

第3四半期におけるインフルエンザワクチンの売上高は、0.3%増の7億3,600万ユーロでした。米国の業績(8.3%増の5億7,600万ユーロ)は、差別化した幅広いインフルエンザワクチンを提供するというサノフィパストールの戦略を反映しています。新興市場での売上高は、メキシコで供給が遅れた結果、23.9%減の7,100万ユーロとなりました。西欧諸国での売上高は、18%減の7,300万ユーロでした。年初からのインフルエンザワ

クチンの売上高は、サノフィパスツールとの技術移転契約の結果、ブタタン研究所の供給が増加したことによるブラジルでの売上高減少を反映し、7.1%減の 8 億 7,200 万ユーロとなりました。

第 3 四半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、Pentaxim[®]、Hexaxim[®]の増加、ポリオワクチンに牽引され 17.8%増の 3 億 2,700 万ユーロとなりました。新興市場におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、中国での Pentaxim[®]およびポリオワクチンの売上高に支えられ、62.4%増の 1 億 9,500 万ユーロとなりました。米国におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、Pentacel[®]の売上高減少により、13.4%減の 1 億ユーロとなりました。期中に Shantha 社は、小児用 5 種混合ワクチンである Shan5TMを国際保健団体への供給用として 500 万ユーロ販売しました。年初からのポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)予防ワクチンの売上高は、5.2%増の 8 億 8,200 万ユーロでした。

第 3 四半期における Menactra[®](メナクトラ)の売上高は、米国の公共部門の売上高増加を反映し、17.8%増の 2 億 3,900 万ユーロとなりました。年初からの Menactra[®](メナクトラ)の売上高は、18.7%増の 4 億 5,900 万ユーロとなりました。

第 3 四半期における成人用ブースターワクチンの売上高は、段階的な供給調整による西欧諸国の売上高減少(53.6%減の 1,300 万ユーロ)を反映し、9.9%減の 1 億 3,300 万ユーロとなりました。年初からの成人用ブースターワクチンの売上高は、1.4%増の 3 億 4,600 万ユーロでした。

トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの第 3 四半期の売上高は 8.1%減の 9,600 万ユーロ、年初からの売上高は 8.7%減の 2 億 7,500 万ユーロでした。

欧州におけるメルク社とのジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD(サノフィに非連結)の第 3 四半期の売上高は、前年同期比(為替調整前)3.7%減の 2 億 8,400 万ユーロ、年初から 9 カ月間の売上高は、前年同期比(為替調整前)3.9%減の 5 億 8,400 万ユーロとなりました。

動物用医薬品

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 3 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 年初から 9 カ月間 純売上高	前年同期比 (CER)
コンパニオンアニマル	401	+13.6%	1,308	+14.3%
産業動物	206	+2.5%	648	+8.9%
動物用医薬品合計	607	+9.3%	1,956	+12.4%
- ワクチン	200	+8.0%	591	+8.0%
- フィブロンル製品	138	-10.5%	525	-2.1%
- アベルメクチン製品	116	+4.0%	404	+12.8%

第 3 四半期における動物用医薬品の売上高は、メリアルの新世代のノミ・マダニ駆除薬である犬用 NexGard[®](ネクスガード)の継続的な成功と、家禽用製品の好業績に支えられ、9.3%増の 6 億 700 万ユーロとなりました。米国における動物用医薬品の売上高は 10.9%増の 2 億 8,900 万ユーロ、新興市場における動物用医薬品の売上高は 14.0%増の 1 億 5,100 万ユーロとなりました。年初からの動物用医薬品の売上高は、12.4%増の 19 億 5,600 万ユーロとなりました。

第 3 四半期におけるコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、NexGard[®](ネクスガード)の業績を受けて 13.6%増の 4 億 100 万ユーロとなりました。NexGard[®](ネクスガード)の業績は、Frontline[®](フロントライン)製品群の売上高減少を十分に補いました。年初からのコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、14.3%増の 13 億 800 万ユーロでした。

第 3 四半期における産業動物セグメントの売上高は、新興市場における家禽事業の業績に牽引され、2.5%増の 2 億 600 万ユーロとなりました。年初からの産業動物セグメントの売上高は、8.9%増の 6 億 4,800 万ユーロでした。

地域別純売上高

(単位:100 万ユーロ)	2015年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015年度 年初から9カ月間 純売上高	前年同期比 (CER)
米国	3,888	+2.3%	10,114	+1.8%
新興市場 ^(a)	2,871	+11.4%	8,912	+8.7%
－中南米	697	+7.0%	2,525	+7.1%
－アジア	964	+17.8%	2,747	+12.1%
－東欧、ロシア、およびトルコ	587	+6.0%	1,789	+5.8%
－アフリカおよび中東	562	+11.4%	1,694	+7.7%
西欧諸国 ^(b)	1,988	-1.8%	6,017	+0.6%
その他 ^(c)	844	-4.5%	2,736	-0.2%
－日本	458	-11.4%	1,572	-4.0%
合計	9,591	+3.4%	27,779	+3.6%

(a) 米国、カナダ、西欧諸国、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランドを除く各国

(b) フランス、ドイツ、英国、イタリア、スペイン、ギリシャ、キプロス、マルタ、ベルギー、ルクセンブルク、ポルトガル、オランダ、オーストリア、スイス、スウェーデン、アイルランド、フィンランド、ノルウェー、アイスランド、デンマーク

(c) 日本、韓国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

第3四半期における米国の売上高は、2.3%増の38億8,800万ユーロとなりました。ジェンザイム(40.2%増)、ワクチン(6.5%増)、CHC(10.8%増)、動物用医薬品(10.9%増)、およびオンコロジー(10.4%増)の業績が糖尿病領域の売上高減少(16.4%減)によって部分的に相殺されました。年初からの米国の売上高は、1.8%増の101億1,400万ユーロでした。

第3四半期における新興市場の売上高は、医薬品(9.9%増)、ワクチン(22.3%増)、動物用医薬品(14.0%増)の業績を受けて11.4%増の28億7,100万ユーロとなりました。期中に、医薬品事業の糖尿病(15.5%増)、ジェンザイム(27.7%増)、オンコロジー(13.8%増)、エスタブリッシュ処方製品(10.7%増)で2桁成長を達成しました。第3四半期におけるアジアの売上高は、中国の業績(33.2%増の5億9,300万ユーロ)に支えられ、17.8%増の9億6,400万ユーロとなりました。中国の業績は、主にワクチン、Plavix[®](プラビックス)、Lantus[®](ランタス)、Aprovel[®]、およびEloxatin[®]によるものです。第3四半期における中南米の売上高は、7.0%増の6億9,700万ユーロでした。ブラジルの第3四半期売上高は、10.1%増の2億7,000万ユーロでした。第3四半期における東欧、ロシア、およびトルコの売上高は、トルコおよびウクライナに牽引され、6.0%増の5億8,700万ユーロとなりました。ロシアの売上高は、現地の経済状況に影響を受け、2.1%増の1億3,700万ユーロとなりました。アフリカおよび中東の売上高は、11.4%増の5億6,200万ユーロでした。年初からの新興市場の売上高は、8.7%増の89億1,200万ユーロとなりました。

第3四半期における西欧諸国の純売上高は、1.8%減の19億8,800万ユーロでした。ジェンザイム(29.5%増)の好業績がエスタブリッシュ処方製品(6.3%減)、CHC(7.6%減)、およびワクチン(24.1%減)によって相殺されました。年初からの西欧諸国の売上高は、0.6%増の60億1,700万ユーロでした。

第3四半期における日本の売上高は、Plavix[®](プラビックス)のジェネリック医薬品との競合による売上高減少(24.7%減)とワクチンの売上高減少(38.7%減)を反映し、11.4%減の4億5,800万ユーロとなりました。年初からの日本の売上高は、4.0%減の15億7,200万ユーロとなりました。

研究開発の最新情報

サノフィの研究開発パイプラインの全容については、付録 6 をご参照ください。

薬事関連の最新情報

2015年7月30日の2015年度第2四半期業績発表以降、以下の薬事関連の出来事がありました。

- 10月、3歳以上の小児用の **VaxiGrip® QIV** (4価不活化インフルエンザワクチン) が欧州の当局に申請されました。
- 9月、米国食品医薬品局 (FDA) は、2型糖尿病の成人患者の治療薬として開発中の1日1回投与の **Prandial** (プランディアル) **GLP-1** 受容体作動薬である **リキシセナチド** の新薬承認申請 (NDA) を受理しました。
- 9月、欧州委員会 (EC) は、低比重リポ蛋白 (LDL) コレステロール値が高いことを特徴とする高コレステロール血症の特定の成人患者の治療薬として、**Praluent®** (一般名: **alirocumab**, **Regeneron** 社と共同開発中) の販売承認を行いました。この承認は、7月24日のFDAによる同剤の承認に続くものです。**Praluent®** は、日本においても8月に保健当局に申請されました。

2015年10月末時点の研究開発パイプラインは、41の新規分子化合物 (ライフサイクルマネジメントを除く) および臨床開発段階にあるワクチンの候補から構成され、そのうち13は第III相あるいは規制当局に承認申請を行っている段階にあります。

提携

- 8月、サノフィと **Google Life Sciences** 社は、1型糖尿病および2型糖尿病患者のケアとアウトカムを改善することを目的として、両社が提携することを発表しました。この提携により、糖尿病治療およびデバイスにおけるサノフィのリーダーシップと、分析、小型電子機器、低出力チップ設計における **Google** の専門技術が組み合わせられます。両社は、これまで連携を欠いていた糖尿病管理の多くをまとめ、また新たな介入を可能にする新たな手段を開発することによって、糖尿病治療を改善する方法を探ります。これには、血糖値やヘモグロビンA1cレベルなどの健康指標、患者報告情報、投薬計画、センサーデバイスが含まれます。
- 8月、サノフィは、ヒト免疫系の抗腫瘍活性を向上させることにより、固形がんおよび血液がんを治療するファーストインクラスの低分子ベースの腫瘍免疫療法の新規創出および開発を目的として、**Evotec** 社および **Apeiron Biologics** 社と共同研究およびライセンス契約を締結しました。
- 8月、サノフィは、インスリン注入の必要性を軽減または排除する β 細胞調節治療薬を開発することを目的として、**Evotec** 社と戦略的共同開発契約を締結しました。

ポートフォリオの最新情報

第III相:

- 10月、**Lemtrada®** (一般名: **alemtuzumab**) の延長試験から新たに得られた再発寛解型多発性硬化症の患者における5年間の肯定的な研究データを **ECTRIMS** にて発表しました。
- 10月、第III相 **TEMSO** 試験の新しい解析結果を **ECTRIMS** にて発表しました。**TEMSO** 試験の磁気共鳴画像 (MRI) データは、再発性多発性硬化症患者において、**Aubagio®** が2年間に亘り、プラセボと比較して脳容積の減少 (萎縮) を有意に遅らせたことを示しています。この解析では、**TEMSO** 試験の MRI データは、元来使用されていた方法に代わり、**SIENA** (正規化された萎縮の構造的画像評価) 法を使用して解析されました。

- 9月、サノフィは、第III相 **LixiLan-L** 臨床試験において、メトホルミンとの併用下あるいは非併用下で、インスリン グラルギンによる治療を受けた2型糖尿病患者において主要評価項目を達成したことを発表しました。インスリン グラルギン 100単位/mLとGLP-1受容体作動薬であるリキシセナチドの固定比率合剤は、インスリン グラルギン 100単位/mLと比較して、統計的に有意なHbA1c低下を示しました。全体的に、固定比率合剤は、インスリン グラルギン 100単位/mLとリキシセナチドの安全性プロファイルを反映していました。7月、サノフィは、最初の第III相 **LixiLan** 試験である **LixiLan-O** 試験において、メトホルミンによる治療を受けた2型糖尿病患者の主要目標を達成したことを発表しました。薬事申請は、米国では2015年度第4四半期、EUでは2016年度第1四半期を予定しています。
- ODYSSEY 臨床試験プログラムに参加したヘテロ接合性家族性高コレステロール血症(HeFH)患者の新しいプール解析により、**Praluent**[®](一般名: **alirocumab**)がLDLコレステロールを有意に低下させることが明らかになりました。この解析には、第III相プログラムで過去最大のHeFH患者群となる1,257人のHeFH患者が含まれました。この解析結果は9月の欧州心臓病学会(ESC)で発表され、解析に含まれる4件の試験のうち2件(ODYSSEY FH IおよびII試験)の78週目の結果が **European Heart Journal** のオンライン版に同時に掲載されました。
- 変形性股関節症における **Synvisc-One**[®]を評価する第III相試験は、主要評価項目を達成しませんでした。
- 重度のヘテロ接合性家族性高コレステロール血症(重度のHeFH)患者における **Kynamro**[®](一般名: **mipomersen sodium**)の第III相 **FOCUS FH** 試験では主要有効性評価項目を達成しました。すなわち、プラセボ群と比較して、週1回の **Kynamro**[®] 200mg投与群において60週後のLDLコレステロール低下に統計的に有意差が認められました。しかし、重度のHeFHに関して、米国で薬事承認申請を進めないことが決定されました。当社では引き続き、米国のホモ接合性家族性高コレステロール血症(HoFH)患者を支援していきます。
- バイオシミラー・インスリンリスプロを評価する2件の第III相試験の患者登録が完了しました。

第II相:

- **Fluzone**[®] **QIV HD**(4価高用量インフルエンザワクチン)が第II相に入りました。
- サノフィは、多発性硬化症における第II相試験の事前に計画された中間解析の結果、主要有効性評価項目が達成されなかったため、**vatelizumab**の開発を中止することを決定しました。
- サノフィは、**C-MET**キナーゼ阻害剤(**SAR125844**)をアウトライセンスすることを決定しました。

第I相:

- 10月、ジェンザイムは、北米および西欧以外の地域における開発および将来的な製品化を目指して **Alnylam**社が開発中の **ALN-AT3**(**fitusiran-SAR439774**)血友病プログラムに参加することを選択しました。ジェンザイムは、北米および西欧で **Alnylam**社と **ALN-AT3**を共同で開発し販売する将来的な選択権を保持します。特にジェンザイムは、**Alnylam**社の担当地域において、**Alnylam**社が開発と製品化の管理を継続した上で、**ALN-AT3**を共同で開発し販売する権利を保持しています。この権利を行使せず、**ALN-AT3**の北米および西欧以外の地域の権利を維持することを選択した場合、急性肝性ポルフィリン症の治療薬として **Alnylam**社が開発中のRNAi療法である **ALN-AS1**のグローバルライセンスを取得します。ジェンザイムは、2016年に見込まれる **ALN-AS1**プログラムのヒト概念実証(**human proof of concept**)が完了次第、この選択権を行使する予定です。
- アルポート症候群における抗miR21 RNAである **SAR339375**が第I相に入りました。
- 眼圧亢進におけるEP2受容体作動薬である **SAR366234**が第I相に入りました。
- オンコロジーにおける抗LAMP-1である **SAR428926**が第I相に入りました。

- 糖尿病における GLP-1R/GIPR デュアル作動薬である SAR438335 が第 I 相に入りました。サノフィは、糖尿病の第 I 相において、GLP1/GIPR 作動薬と GLP1-GCGR 作動薬という 2 種類のデュアル作動薬を保有しています。

2015 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の業績

事業純利益⁽⁶⁾

2015 年度第 3 四半期におけるサノフィの**純売上高**は、前年同期比(為替調整前)で 9.2%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 3.4%増)の 95 億 9,100 万ユーロとなりました。年初からの売上高は、前年同期比(為替調整前)12.5%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 3.6%増)の 277 億 7,900 万ユーロとなりました。

その他収益は、第 3 四半期は 2.3%増の 8,900 万ユーロ、年初から 9 カ月間は 4.6%増の 2 億 5,200 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、その他収益は、欧州で Enbrel[®]の売上高に対して受け取るロイヤリティが減少したことを反映し、第 3 四半期は 8.0%減、年初から 9 カ月間は 7.9%減となりました。

第 3 四半期における**売上総利益**は、11.3%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 4.0%増)の 66 億 8,200 万ユーロとなりました。売上総利益率は、為替レート変動の好影響により、前年同期と比較し 1.3 ポイント改善し 69.7%となりました。さらに、ジェンザイムおよびワクチン製品構成によるプラス影響は、米国での Lantus[®](ランタス)および日本での Plavix[®](プラビックス)ジェネリック医薬品との競合によるマイナス影響を十二分に補いました。2015 年度年初から 9 カ月間の売上総利益率は、前年同期と比較し 0.9 ポイント改善し 69.5%となりました。サノフィでは引き続き、2015 年度の売上総利益が 69%程度となるものと予想しています。

第 3 四半期における**研究開発費**は、dupilumab への支出増加、Praluent[®]に関する ODYSSEY 心血管アウトカム試験、Regeneron 社との新たな腫瘍免疫提携の開始を反映して、18.2%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 9.9%増)の 13 億 5,500 万ユーロとなりました。年初からの研究開発費は、10.7%増(為替変動の影響を排除した場合は 2.6%増)の 38 億 4,400 万ユーロ、純売上高に占める研究開発費の割合は、前年同期比で 0.3 ポイント減の 13.8%となりました。

第 3 四半期における**販売費および一般管理費(SG&A)**は、12.2%増の 24 億 6,100 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、SG&A は、北米での Praluent[®]の発売コスト、米国での Toujeo[®](ランタス XR)の DTC 広告、多発性硬化症フランチャイズおよび動物用医薬品を支える営業費を反映して、6.2%増となりました。第 3 四半期の純売上高に占める SG&A の割合は、前年同期比で 0.7 ポイント増加し、25.7%となりました。年初からの SG&A は、15.6%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 6.2%増)の 75 億 4,700 万ユーロ、純売上高に占める SG&A の割合は、前年同期比で 0.8 ポイント増加し、27.2%となりました。

第 3 四半期における**その他の当期営業損益**は、米国でのライセンス終了に関連したキャピタルゲイン(4,000 万ユーロ)が含まれた前年同期の 3,900 万ユーロの収益に対し、1 億 3,600 万ユーロの損失となりました。第 3 四半期にサノフィは、ベネズエラを拠点とする子会社に関連する為替差損として、1 億 3,700 万ユーロを計上しました。この為替差損は、主に、グループ内での米ドル建て支払いを、今後の決済に適用される予想為替レートを使用して再測定したことにより生じました。2015 年 9 月 30 日現在、ベネズエラでの合計為替差損は 2 億 3,700 万ユーロでした。2015 年度年初から 9 カ月間のその他の当期営業損益は、前年同期の 6,800 万ユーロに対し、2 億 2,300 万ユーロとなりました。

第 3 四半期における**関連会社持分利益**は、前年同期の 4,300 万ユーロに対し、7,800 万ユーロとなりました。このデータには、2014 年 4 月以降の持分法に基づき計上された Regeneron 社の利益に占める当社の持分、および欧州におけるメルク社とのワクチン関連ジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD の利益に占める当社の持分が含まれています。年初から 9 カ月間の関連会社持分利益は、前年同期の 8,200 万ユーロに対し、1 億 3,900 万ユーロとなりました。

⁽⁶⁾ 財務指標の定義については付録 8、事業純利益から IFRS 純利益への調整については付録 3 をご参照ください。

第3四半期における**非支配株主に帰属する純利益**は、前年同期の3,100万ユーロの損失に対し、2,500万ユーロの損失となりました。年初からの非支配株主に帰属する純利益は、前年同期の9,600万ユーロの損失に対し、8,700万ユーロの損失となりました。

第3四半期における**事業営業利益**⁽⁷⁾は、2.5%増の27億8,300万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、事業営業利益は0.4%減でした。純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期比で1.9ポイント減少し、29.0%となりました。年初からの事業営業利益は、10.6%増(為替レート変動の影響を排除した場合は1.9%増)の77億4,700万ユーロとなりました。2015年度年初から9カ月間の純売上高に占める事業営業利益の割合は、0.5ポイント減少し、27.9%となりました。

第3四半期における**純財務費用**は、前年同期の1億3,900万ユーロに対し、1億500万ユーロでした。年初からの純財務費用は、前年同期の3億900万ユーロに対し、3億1,400万ユーロでした。

通年の実効税率の予測が24%(これまでは25%)で見直され、第3四半期の**実効税率**は22.2%となりました。

第3四半期における**事業純利益**⁽⁶⁾は、8.3%増(為替レート変動の影響を排除した場合は5.0%増)の20億9,600万ユーロとなりました。第3四半期の純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期比で微減(0.1ポイント減)し21.9%となりました。年初からの事業純利益は、12.8%増(為替レート変動の影響を排除した場合は3.7%増)の56億6,200万ユーロとなりました。年初から9カ月間の純売上高に占める事業純利益の割合は、前年同期比0.1ポイント増の20.4%となりました。

2015年度第3四半期の**1株当たり事業純利益**⁽⁶⁾(EPS)は、為替調整前では9.5%増、為替レート変動の影響を排除した場合は6.1%増の1.61ユーロとなりました。2015年度第3四半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の13億1,300万株に対し、13億550万株となりました。2015年度年初から9カ月間の**1株当たり事業純利益**⁽⁶⁾は、為替調整前では13.6%増、為替レート変動の影響を排除した場合は4.5%増の4.33ユーロとなりました。2015年度年初から9カ月間の期中平均発行済み株式数は、前年同期の13億1,580万株に対し、13億660万株となりました。

事業純利益からIFRS純利益への調整(付録3を参照)

2015年度年初から9カ月間の事業純利益とIFRS純利益間の主な調整項目は、以下のとおりです。

- 買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの4億9,300万ユーロ、ジェンザイムの6億6,600万ユーロ、メリアル社の3億8,500万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:9,500万ユーロ)に関連した償却費、18億2,700万ユーロ。2015年度第3四半期には、買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの1億3,900万ユーロ、ジェンザイムの2億1,700万ユーロ、メリアル社の1億4,400万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:3,800万ユーロ)に関連した償却費、5億9,800万ユーロを計上しました。これらの項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 無形固定資産に対する減損、2億3,700万ユーロ(このうち2億900万ユーロが主にSynvisc[®](サイビスク)およびvatalizumabに関連して2015年度第3四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- CVRに関連した偶発対価の公正価値の低下(1億2,700万ユーロ。このうち1億900万ユーロが2015年度第3四半期に計上)およびLemtrada[®]に関連したバイエル社の偶発対価の公正価値の低下(2,000万ユーロ。このうち1,900万ユーロが2015年度第3四半期に計上)を反映した1億6,100万ユーロの収益。
- 4億3,900万ユーロの事業再編費用(主に欧州およびベネズエラの変革に関連する第3四半期の5,800万ユーロを含む)。

⁽⁷⁾ 事業営業利益は、グループで使用されるセグメントの業績です。2015年度第3四半期の連結損益計算書については、付録4に記載しています。

⁽⁶⁾ 財務指標の定義については付録8、事業純利益からIFRS純利益への調整については付録3をご参照ください。

- 上記項目から生じた 8 億 7,100 万ユーロの税効果(無形固定資産に対する償却費から生じた繰延税金 6 億 4,100 万ユーロ、事業再編費用に関連した 1 億 5,000 万ユーロ、無形固定資産の減損損失に関連した 8,700 万ユーロ、および偶発対価債務の公正価値での再評価に関連した 700 万ユーロから構成される)。第 3 四半期の税効果は、無形固定資産に対する償却費から生じた繰延税金 2 億 1,000 万ユーロと偶発対価債務の公正価値での再評価に関連した 7,700 万ユーロの費用を含め、3 億 1,000 万ユーロでした(付録 3 を参照)。
- 当社株主に支払った配当に対する 1 億 1,100 万ユーロの税金
- 「関連会社持分利益」に含まれる、関連会社買収の一部としての資産および負債の公正価値での再評価、ならびにジョイントベンチャーの無形固定資産の償却に関連した 1 億 3,200 万ユーロの費用(税控除後)(このうち 500 万ユーロを 2015 年度第 3 四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。

資本配分

資本支出(10 億 900 万ユーロ)と運転資本(7 億 1,400 万ユーロ)の増加を考慮し、事業再編費用を除いた 2015 年度年初から 9 カ月間における営業活動からの純キャッシュは、18%増の 50 億 500 万ユーロとなりました。この純キャッシュフローは、新株発行による収入(5 億 5,200 万ユーロ)によって部分的に相殺された株式の買い戻し(14 億 8,100 万ユーロ)、サノフィが支払った配当(36 億 9,400 万ユーロ)、買収・提携(純支出)(13 億 8,300 万ユーロ)、および事業再編費用(5 億 300 万ユーロ)のための財源に充当しました。その結果、純負債は、特に米ドルで保有された負債の換算の影響を含め、2014 年 12 月 31 日時点の 71 億 7,100 万ユーロから、2015 年 9 月 30 日時点の 93 億 5,400 万ユーロ(70 億 100 万ユーロの現金および現金同等物を控除)へと増加しました。

付録

付録一覧

- 付録 1: 2015 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の地域別・製品別連結純売上高
- 付録 2: 2015 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の損益計算書
- 付録 3: 事業純利益から IFRS 純利益への調整
- 付録 4: 2015 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の連結損益計算書
- 付録 5: 2015 年の為替感度
- 付録 6: 研究開発パイプライン
- 付録 7: 見込まれる研究開発マイルストーン
- 付録 8: 定義

付録 1: 2015 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の地域別・製品別連結純売上高

2015 年度第 3 四半期純売上高 (単位: 100 万ユーロ)	合計	前年度 比 (CER)	前年度比 (為替 調整前)	西欧諸国	前年度 比 (CER)	米国	前年度 比 (CER)	新興市場	前年度 比 (CER)	その他	前年度 比 (CER)
Lantus (ランタス)	1,561	-10.8%	-0.4%	222	-1.4%	997	-19.6%	260	15.8%	82	3.7%
Apidra (アピドラ)	88	-4.5%	0.0%	25	-3.8%	34	-17.1%	19	16.7%	10	0.0%
Amaryl (アマリール)	93	5.7%	6.9%	4	-20.0%	1	-100.0%	75	13.6%	13	-7.1%
Insuman	36	8.8%	5.9%	20	-9.5%	1	-	15	23.1%	0	-
BGM	15	7.1%	7.1%	14	0.0%	0	-	1	0.0%	0	-
Lyxumia (リクスマア)	9	25.0%	12.5%	6	25.0%	0	-	2	0.0%	1	50.0%
Afrezza	2	-	-	0	-	2	-	0	-	0	-
Toujeo (ランタス XR)	46	-	-	5	-	40	-	1	-	0	-
その他の糖尿病製品	2	-	-	0	-	0	-	0	-	2	-
糖尿病	1,852	-6.6%	2.9%	296	-0.3%	1,075	-16.4%	373	15.5%	108	8.6%
Taxotere (タキソテール)	58	-3.4%	-1.7%	1	-33.3%	2	-50.0%	37	9.4%	18	-13.6%
Jevtana (ジェブタナ)	78	9.0%	16.4%	32	-5.9%	32	13.0%	8	12.5%	6	200.0%
Eloxatine	58	27.9%	34.9%	1	-50.0%	1	-125.0%	35	26.9%	21	5.3%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	63	5.6%	16.7%	9	12.5%	38	14.3%	11	-8.3%	5	-16.7%
Mozobil	36	13.8%	24.1%	9	-10.0%	23	11.8%	3	100.0%	1	-
Zaltrap	19	0.0%	5.6%	12	33.3%	4	-33.3%	2	0.0%	1	-100.0%
その他のオンコロジー製品	64	-8.2%	4.9%	14	-21.4%	41	0.0%	4	0.0%	5	-25.0%
オンコロジー	376	5.4%	13.6%	78	-5.0%	141	10.4%	100	13.8%	57	-1.7%
Aubagio	225	78.6%	100.9%	52	183.3%	159	54.0%	7	133.3%	7	100.0%
Lemtrada	68	-	-	22	-	39	-	4	-	3	-
Cerezyme (セラゼイム)	189	5.1%	8.0%	61	0.0%	55	-4.2%	62	20.0%	11	0.0%
Cerdega (サデルガ)	18	-	-	2	-	16	-	0	-	0	-
Myozyme (マイオザイム)	162	10.9%	17.4%	75	7.2%	51	25.7%	25	8.7%	11	-9.1%
Fabrazyme (ファブラザイム)	147	18.1%	26.7%	34	21.4%	76	12.1%	15	30.8%	22	23.5%
Aldurazyme (アウドラザイム)	48	14.6%	17.1%	17	0.0%	9	0.0%	15	45.5%	7	16.7%
その他の希少疾患製品	66	3.3%	10.0%	8	-10.0%	26	-13.0%	7	50.0%	25	14.3%
ジェンザイム	923	32.7%	42.2%	271	29.5%	431	40.2%	135	27.7%	86	22.5%
Plavix (プラビックス)	446	-5.3%	-0.9%	41	-21.2%	1	-	246	18.7%	158	-23.9%
Lovenox	429	0.9%	0.7%	221	-0.9%	16	-61.8%	167	17.0%	25	8.3%
Renagel (レナジェル) / Renvela	239	27.8%	47.5%	26	-18.8%	191	56.3%	15	-28.6%	7	-16.7%
Aprovel	167	-8.4%	-6.2%	32	-22.0%	4	0.0%	97	-3.0%	34	-8.8%
Allegra (アレグラ)	33	0.0%	3.1%	2	0.0%	0	-	0	-	31	0.0%
Myslee / Ambien / Stilnox (マイスリー)	72	-9.0%	-7.7%	9	-10.0%	15	-36.8%	16	20.0%	32	-5.9%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc One	96	-2.3%	9.1%	7	16.7%	75	-8.7%	12	18.2%	2	50.0%
Multaq	86	-2.6%	13.2%	10	-9.1%	73	-1.6%	2	0.0%	1	0.0%
Depakine	107	4.0%	7.0%	36	-2.8%	0	-	66	6.7%	5	25.0%
Tritace	65	-4.3%	-5.8%	27	-12.9%	0	-	36	2.8%	2	0.0%
Lasix (ラシックス)	38	-9.5%	-9.5%	19	5.3%	0	0.0%	14	16.7%	5	-70.0%
Targocid (タゴシッド)	42	2.5%	5.0%	21	0.0%	0	-	19	5.6%	2	0.0%
Orudis	32	27.3%	-3.0%	4	0.0%	0	-	27	32.1%	1	0.0%
Cordarone (アンカロン)	32	3.2%	3.2%	5	-16.7%	0	-	19	18.8%	8	-11.1%
Xatral	24	9.1%	9.1%	9	0.0%	0	-	14	18.2%	1	0.0%
Actonel	5	-66.7%	-76.2%	0	-100.0%	0	-	4	-44.4%	1	-75.0%
Auvi-Q / Allerject	61	43.2%	64.9%	1	0.0%	55	42.4%	0	-	5	66.7%
その他の処方薬	872	-0.8%	-1.0%	367	-4.7%	75	-14.7%	345	10.0%	85	-11.6%
エスタブリッシュ処方製品計	2,846	0.1%	2.9%	837	-6.3%	505	6.5%	1,099	10.7%	405	-15.7%
Praluent	4	-	-	0	-	4	-	0	-	0	-
コンシューマー・ヘルスケア	814	3.2%	-0.6%	146	-7.6%	209	10.8%	393	2.0%	66	20.7%
ジェネリック医薬品	452	6.7%	0.2%	135	5.6%	36	10.7%	262	4.5%	19	63.6%
医薬品	7,267	2.6%	6.6%	1,763	-0.3%	2,401	-0.6%	2,362	9.9%	741	-4.0%
ボリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ)	327	17.8%	26.3%	7	-12.5%	100	-13.4%	195	62.4%	25	-35.1%
成人用ブースター (追加接種) ワクチン	133	-9.9%	1.5%	13	-53.6%	101	-4.4%	14	36.4%	5	100.0%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	260	17.8%	36.1%	1	-50.0%	224	12.6%	33	88.9%	2	-50.0%
インフルエンザ ワクチン	736	0.3%	13.2%	73	-18.0%	576	8.3%	71	-23.9%	16	5.9%
トラベラーズ ワクチン および その他 風土 病用 ワクチン	96	-8.1%	-3.0%	4	-33.3%	36	-3.2%	45	-8.2%	11	-7.7%
その他の ワクチン	165	15.7%	36.4%	3	-	161	17.9%	0	-100.0%	1	-
ワクチン	1,717	5.5%	18.3%	101	-24.1%	1,198	6.5%	358	22.3%	60	-19.2%
フィブロニル 製品	138	-10.5%	-3.5%	39	-2.6%	64	-19.4%	28	3.6%	7	-22.2%
ワクチン	200	8.0%	13.6%	47	-2.1%	56	17.5%	88	12.8%	9	-18.2%
アベルメクテン 製品	116	4.0%	14.9%	10	-18.2%	79	8.2%	13	7.1%	14	0.0%
その他	153	47.4%	61.1%	28	16.0%	90	48.1%	22	43.8%	13	450.0%
動物用医薬品	607	9.3%	17.9%	124	0.0%	289	10.9%	151	14.0%	43	13.5%
グループ合計	9,591	3.4%	9.2%	1,988	-1.8%	3,888	2.3%	2,871	11.4%	844	-4.5%

2015年度 年初から9カ月間の純売上高 (単位:100万ユーロ)	合計	前年度 比 (CER)	前年度比 (為替 調整前)	西欧諸国	前年度 比 (CER)	米国	前年度 比 (CER)	新興市場	前年度 比 (CER)	その他	前年度 比 (CER)
Lantus (ランタス)	4,854	-7.3%	6.2%	675	3.6%	3,090	-16.1%	841	18.4%	248	3.9%
Apidra (アピドラ)	272	5.4%	13.3%	76	4.1%	103	-5.6%	65	25.0%	28	8.0%
Amaryl (アマリール)	299	2.2%	11.2%	12	-20.0%	2	-66.7%	243	8.8%	42	-14.9%
Insuman	103	4.0%	4.0%	58	-6.6%	2	0.0%	43	18.9%	0	-
BGM	47	2.2%	2.2%	44	2.3%	0	-	2	0.0%	1	0.0%
Lyxumia (リキスミア)	27	42.1%	42.1%	16	36.4%	0	-	5	66.7%	6	40.0%
Afrezza	5	-	-	0	-	5	-	0	-	0	-
Toujeo (ランタス XR)	66	-	-	6	-	58	-	1	-	1	-
その他の糖尿病製品	4	0.0%	0.0%	0	-	0	-	1	0.0%	3	0.0%
糖尿病	5,677	-4.6%	8.2%	887	3.5%	3,260	-14.2%	1,201	17.0%	329	2.6%
Taxotere (タキソテール)	173	-17.9%	-11.3%	5	-54.5%	5	-42.9%	106	-5.0%	57	-27.6%
Jevtana (ジェブタナ)	237	10.1%	19.1%	105	-1.9%	92	15.4%	24	0.0%	16	400.0%
Eloxatine	169	12.5%	24.3%	3	-25.0%	3	166.7%	100	17.1%	63	0.0%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	187	3.8%	16.9%	27	12.5%	108	14.1%	38	-15.9%	14	-7.1%
Mozobil	105	17.5%	31.3%	28	3.8%	62	15.9%	11	71.4%	4	33.3%
Zaltrap	59	12.2%	20.4%	37	44.0%	16	-30.0%	5	25.0%	1	-
その他のオンコロジー製品	193	-12.0%	0.5%	41	-11.6%	120	-12.5%	17	-15.0%	15	-5.9%
オンコロジー	1,123	0.5%	11.1%	246	0.4%	406	3.1%	301	1.4%	170	-5.8%
Aubagio	599	81.9%	108.7%	134	137.5%	424	60.1%	20	216.7%	21	200.0%
Lemtrada	162	-	-	61	-	84	-	8	-	9	-
Cerezyme (セラゼイム)	577	5.4%	11.4%	184	1.7%	154	-8.0%	204	21.6%	35	0.0%
Cerdelga (サデルガ)	44	-	-	3	-	41	-	0	-	0	-
Myozyme (マイオザイム)	483	14.5%	23.2%	217	7.0%	150	25.3%	84	20.9%	32	14.8%
Fabrazyme (ファブラザイム)	434	16.0%	28.8%	98	19.8%	223	12.2%	52	18.2%	61	20.8%
Aldurazyme (アウドラザイム)	146	9.4%	15.0%	52	4.2%	29	0.0%	48	20.0%	17	13.3%
その他の希少疾患製品	206	3.9%	15.1%	31	3.2%	81	4.8%	26	27.3%	68	-4.8%
ジェネザイム	2,651	30.0%	42.7%	780	26.2%	1,186	38.4%	442	26.2%	243	18.5%
Plavix (プラビックス)	1,474	-0.4%	8.2%	130	-23.2%	1	-	750	9.5%	593	-3.7%
Lovenox	1,300	0.6%	2.9%	682	0.6%	59	-49.5%	487	11.2%	72	2.9%
Renagel (レナジェル) / Renvela	696	27.0%	47.8%	88	-10.3%	530	43.3%	60	7.5%	18	6.3%
Aprovel	592	-2.4%	7.6%	107	-27.9%	12	-23.1%	365	11.7%	108	-3.0%
Allegra (アレグラ)	150	-5.3%	-0.7%	8	0.0%	0	-	1	-50.0%	141	-5.0%
Myslee / Ambien / Stilnox (マイスリー)	221	-9.2%	-3.5%	28	-9.7%	50	-22.6%	49	11.6%	94	-10.8%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc One	297	1.6%	18.3%	22	10.0%	230	-3.6%	36	25.0%	9	28.6%
Multaq	256	0.9%	19.1%	30	-9.1%	217	2.3%	7	0.0%	2	50.0%
Depakine	319	4.5%	9.6%	106	0.0%	0	-	201	8.0%	12	-8.3%
Tritace	210	-3.3%	-0.9%	87	-9.4%	0	-	118	3.7%	5	-28.6%
Lasix (ラシックス)	127	0.0%	3.3%	57	-3.4%	2	0.0%	44	10.8%	24	-8.0%
Targocid (タゴシッド)	124	2.6%	7.8%	61	-1.6%	0	-	57	10.4%	6	-16.7%
Orudis	125	10.3%	7.8%	13	-7.1%	0	-	109	13.1%	3	0.0%
Cordarone (アンカロン)	99	1.0%	3.1%	17	-5.6%	0	-	58	9.6%	24	-11.5%
Xatral	72	-1.4%	4.3%	27	-3.6%	0	-	41	0.0%	4	0.0%
Actonel	18	-69.4%	-71.0%	1	-92.3%	0	-	12	-51.9%	5	-77.3%
Auvi-Q / Allerject	113	52.4%	79.4%	2	0.0%	100	53.7%	0	-	11	57.1%
その他の処方薬	2,741	-2.1%	0.9%	1,152	-1.3%	239	-26.8%	1,081	6.7%	269	-12.2%
エスタブリッシュ処方製品計	8,934	0.6%	6.9%	2,618	-4.8%	1,440	1.9%	3,476	8.3%	1,400	-6.6%
Praluent	4	-	-	0	-	4	-	0	-	0	-
コンシューマー・ヘルスケア	2,683	3.3%	6.5%	509	-2.3%	705	7.8%	1,280	2.1%	189	17.1%
ジェネリック医薬品	1,450	8.7%	8.4%	419	2.3%	127	10.6%	836	7.5%	68	124.1%
医薬品	22,522	2.8%	10.8%	5,459	1.0%	7,128	-1.4%	7,536	8.9%	2,399	0.1%
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ)	882	5.2%	17.0%	24	20.0%	307	-4.2%	474	25.1%	77	-37.1%
成人用ブースター (追加接種) ワクチン	346	1.4%	17.3%	26	-40.9%	260	0.9%	45	51.7%	15	55.6%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	502	18.5%	38.7%	2	0.0%	411	14.1%	83	49.1%	6	-28.6%
インフルエンザ ワクチン	872	-7.1%	3.3%	74	-17.8%	574	3.4%	193	-25.0%	31	6.9%
トラベラーズ ワクチン およびその他	275	-8.7%	-0.7%	18	-5.3%	86	-7.8%	129	-12.1%	42	0.0%
風土病用 ワクチン	424	32.8%	60.0%	2	100.0%	407	35.3%	6	-50.0%	9	60.0%
ワクチン	3,301	4.0%	18.0%	146	-17.0%	2,045	8.3%	930	5.6%	180	-17.0%
フィブロンル製品	525	-2.1%	8.7%	160	4.0%	256	-9.1%	85	13.7%	24	-17.9%
ワクチン	591	8.0%	15.9%	134	-1.5%	150	9.8%	261	9.1%	46	33.3%
アベルメクテン製品	404	12.8%	29.1%	37	-7.7%	270	19.5%	42	13.5%	55	3.8%
その他	436	46.8%	65.8%	81	15.9%	265	55.3%	58	34.9%	32	190.0%
動物用医薬品	1,956	12.4%	24.7%	412	3.0%	941	15.5%	446	13.3%	157	22.0%
グループ合計	27,779	3.6%	12.5%	6,017	0.6%	10,114	1.8%	8,912	8.7%	2,736	-0.2%

付録 2: 事業純利益計算書

2015 年度 第 3 四半期 (単位:100 万 ユーロ)	グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
	Q3 2015	Q3 2014	前年度 比	Q3 2015	Q3 2014	前年度 比	Q3 2015	Q3 2014	前年度 比	Q3 2015	Q3 2014	前年度 比	Q3 2015	Q3 2014
純売上高	9,591	8,781	9.2%	7,267	6,815	6.6%	1,717	1,451	18.3%	607	515	17.9%	-	-
その他収益	89	87	2.3%	68	69	(1.4%)	9	9	-	12	9	33.3%	-	-
売上原価	(2,998)	(2,864)	4.7%	(2,151)	(2,036)	5.6%	(635)	(629)	1.0%	(212)	(199)	6.5%	-	-
純売上高に占める割合	(31.3%)	(32.6%)		(29.6%)	(29.9%)		(37.0%)	(43.3%)		(34.9%)	(38.6%)			
売上総利益	6,682	6,004	11.3%	5,184	4,848	6.9%	1,091	831	31.3%	407	325	25.2%	-	-
純売上高に占める割合	69.7%	68.4%		71.3%	71.1%		63.5%	57.3%		67.1%	63.1%			
研究開発費	(1,355)	(1,146)	18.2%	(1,173)	(987)	18.8%	(140)	(121)	15.7%	(42)	(38)	10.5%	-	-
純売上高に占める割合	(14.1%)	(13.1%)		(16.1%)	(14.5%)		(8.2%)	(8.3%)		(6.9%)	(7.4%)			
販売費および一般管理費	(2,461)	(2,193)	12.2%	(2,070)	(1,859)	11.4%	(176)	(170)	3.5%	(215)	(164)	31.1%	-	-
純売上高に占める割合	(25.7%)	(25.0%)		(28.5%)	(27.3%)		(10.3%)	(11.7%)		(35.4%)	(31.8%)			
その他の当期営業損益	(136)	39		(128)	57		-	2		4	1		(12)	(21)
関連会社 ⁽¹⁾ および合弁会社持分利益	78	43		57	22		20	21		1	-		-	-
非支配株主に帰属する純利益	(25)	(31)		(24)	(31)		(1)	-		-	-		-	-
事業営業利益	2,783	2,716	2.5%	1,846	2,050	(10.0%)	794	563	41.0%	155	124	25.0%	(12)	(21)
純売上高に占める割合	29.0%	30.9%		25.4%	30.1%		46.2%	38.8%		25.5%	24.1%			
財務収益(費用)	(105)	(139)												
法人税	(582)	(642)												
法人税率 ⁽²⁾	-22.2%	-25.0%												
事業純利益	2,096	1,935	8.3%											
純売上高に占める割合	21.9%	22.0%												
1 株当たり事業純利益 ⁽³⁾ (単位:ユーロ)	1.61	1.47	9.5%											

(1) 税控除後

(2) 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出

(3) 2015 年度第 3 四半期の 13 億 550 万株、前年同期の 13 億 1,300 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

2015年度 年初から 9カ月間 (単位:100万 ユーロ)	グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
	9M 2015	9M 2014	前年度 比	9M 2015	9M 2014	前年度 比	9M 2015	9M 2014	前年度 比	9M 2015	9M 2014	前年度 比	9M 2015	9M 2014
純売上高	27,779	24,698	12.5%	22,522	20,332	10.8%	3,301	2,797	18.0%	1,956	1,569	24.7%	-	-
その他収益	252	241	4.6%	197	195	1.0%	23	23	-	32	23	39.1%	-	-
売上原価	(8,722)	(7,988)	9.2%	(6,593)	(6,082)	8.4%	(1,461)	(1,329)	9.9%	(668)	(577)	15.8%	-	-
純売上高に占める割合	(31.4%)	(32.4%)		(29.3%)	(29.9%)		(44.3%)	(47.5%)		(34.2%)	(36.8%)			
売上総利益	19,309	16,951	13.9%	16,126	14,445	11.6%	1,863	1,491	24.9%	1,320	1,015	30.0%	-	-
純売上高に占める割合	69.5%	68.6%		71.6%	71.0%		56.4%	53.3%		67.5%	64.7%			
研究開発費	(3,844)	(3,473)	10.7%	(3,316)	(3,012)	10.1%	(402)	(351)	14.5%	(126)	(110)	14.5%	-	-
純売上高に占める割合	(13.8%)	(14.1%)		(14.7%)	(14.8%)		(12.2%)	(12.5%)		(6.4%)	(7.0%)			
販売費および一般管理費	(7,547)	(6,526)	15.6%	(6,380)	(5,580)	14.3%	(520)	(441)	17.9%	(647)	(505)	28.1%	-	-
純売上高に占める割合	(27.2%)	(26.4%)		(28.3%)	(27.4%)		(15.8%)	(15.8%)		(33.1%)	(32.2%)			
その他の当期営業損益	(223)	68		(167)	76		2	3		9	18		(67)	(29)
関連会社 ⁽¹⁾ および 合弁会社持分利益	139	82		118	55		20	27		1	-		-	-
非支配株主に 帰属する純利益	(87)	(96)		(86)	(96)		(1)	-		-	-		-	-
事業営業利益	7,747	7,006	10.6%	6,295	5,888	6.9%	962	729	32.0%	557	418	33.3%	(67)	(29)
純売上高に占める割合	27.9%	28.4%		28.0%	29.0%		29.1%	26.1%		28.5%	26.6%			
財務収益(費用)	(314)	(309)												
法人税	(1,771)	(1,678)												
法人税率 ⁽²⁾	-24.0%	-25.0%												
事業純利益	5,662	5,019	12.8%											
純売上高に占める割合	20.4%	20.3%												
1株当たり事業 純利益 ⁽³⁾ (単位:ユーロ)	4.33	3.81	13.6%											

(1) 税控除後

(2) 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出

(3) 2015年度年初から9カ月間の13億660万株、前年同期の13億1,580万株という期中平均発行済み株式数に基づく

付録 3: 事業純利益から当社株主に帰属する純利益への調整

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 3 四半期	2014 年度 第 3 四半期	前年度比
事業純利益	2,096	1,935	8.3%
無形固定資産の償却 ⁽¹⁾	(598)	(561)	
無形固定資産の減損	(209)	(35)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	90	(45)	
事業再編費用	(58)	(163)	
米国ブランド処方薬料に関連する追加年度経費 ⁽²⁾	-	(116)	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
上記項目の税効果:	310	261	
無形固定資産の償却	210	188	
無形固定資産の減損	77	13	
偶発対価債務の公正価値での再評価	8	5	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
事業再編費用	15	55	
その他の税目	-	-	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	2	-	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(5)	(86)	
当社株主に帰属する純利益	1,628	1,190	36.8%
IFRS1 株当たり純利益⁽³⁾ (単位:ユーロ)	1.25	0.91	

(1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2015 年度第 3 四半期は 5 億 6,000 万ユーロ、前年同期は 5 億 4,000 万ユーロとなった

(2) 負債認識の時期を変更し、2014 年の 1 回限りの「二重」経費につながる 2014 年 7 月に公布された最終 IRS 規則以降の 2013 年度売上高に関連する年間経費

(3) 2015 年度第 3 四半期の 13 億 550 万株、前年同期の 13 億 1,300 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

事業純利益から連結純利益への調整については、14 ページを参照

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 年初から 9 カ月間	2014 年度 年初から 9 カ月間	前年度比
事業純利益	5,662	5,019	12.8%
無形固定資産の償却 ⁽¹⁾	(1,827)	(1,862)	
無形固定資産の減損	(237)	(109)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	161	(177)	
事業再編費用	(439)	(298)	
米国ブランド処方薬料に関連する追加年度経費 ⁽²⁾	-	(116)	
その他の損益および訴訟費用 ⁽³⁾	-	35	
上記項目の税効果:	871	783	
無形固定資産の償却	641	639	
無形固定資産の減損	87	39	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(7)	19	
その他の損益および訴訟費用	-	(13)	
事業再編費用	150	99	
その他の税目 ⁽⁴⁾	(111)	(110)	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	5	4	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(132)	(118)	
当社株主に帰属する純利益	3,953	3,051	29.6%
IFRS 1 株当たり純利益⁽⁵⁾ (単位:ユーロ)	3.03	2.32	

- (1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2015 年度年初から 9 カ月間は 17 億 3,200 万ユーロ、前年同期は 17 億 9,800 万ユーロとなった
- (2) 負債認識の時期を変更し、2014 年の 1 回限りの「二重」経費につながる 2014 年 7 月に公布された最終 IRS 規則以降の 2013 年度売上高に関連する年間経費
- (3) 業績には、Alnylam 社持分の初日利益が表示されている
- (4) 当社株主に支払った配当に対する課税
- (5) 2015 年度年初から 9 カ月間の 13 億 660 万株、前年同期の 13 億 1,580 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

事業純利益から連結純利益への調整については、14 ページを参照

付録 4: 連結損益計算書

(単位: 100 万ユーロ)	2015 年度 第 3 四半期	2014 年度 第 3 四半期	2015 年度 年初から 9 カ月間	2014 年度 年初から 9 カ月間
純売上高	9,591	8,781	27,779	24,698
その他収益	89	87	252	241
売上原価	(2,998)	(2,864)	(8,722)	(7,988)
売上総利益	6,682	6,004	19,309	16,951
研究開発費	(1,355)	(1,146)	(3,844)	(3,473)
販売費および一般管理費	(2,461)	(2,309)	(7,547)	(6,642)
その他の当期営業収益	(108)	47	(25)	163
その他の当期営業費用	(28)	(8)	(198)	(95)
無形固定資産の償却	(598)	(561)	(1,827)	(1,862)
無形固定資産の減損	(209)	(35)	(237)	(109)
偶発対価債務の公正価値での再評価	90	(45)	161	(177)
事業再編費用	(58)	(163)	(439)	(298)
営業利益	1,955	1,784	5,353	4,458
財務費用	(127)	(154)	(394)	(446)
財務収益	22	15	80	172
関連会社および合弁会社持分利益を除く税引前利益	1,850	1,645	5,039	4,184
法人税	(272)	(381)	(1,011)	(1,005)
関連会社および合弁会社持分利益	73	(43)	7	(36)
純利益	1,651	1,221	4,035	3,143
非支配株主に帰属する純利益	23	31	82	92
当社株主に帰属する純利益	1,628	1,190	3,953	3,051
期中平均発行済み株式数(単位: 100 万株)	1,305.5	1,313.0	1,306.6	1,315.8
1 株当たり純利益(単位: ユーロ)	1.25	0.91	3.03	2.32

付録 5:2015 年の為替感度

2015 年の 1 株当たり事業純利益の為替感度

通貨	変動	1 株当たり事業純利益の 為替感度
米ドル	-0.05ドル/ユーロ	+0.10 ユーロ
日本円	+5 円/ユーロ	-0.03 ユーロ
ロシア・ルーブル	+10 ルーブル/ユーロ	-0.06 ユーロ

2015 年度第 3 四半期の通貨変動リスク

通貨	2015 年度第 3 四半期
米ドル	41.5%
ユーロ	21.4%
中国元	5.9%
日本円	4.5%
ブラジル・リアル	2.7%
英ポンド	2.1%
カナダ・ドル	1.5%
ロシア・ルーブル	1.4%
オーストラリア・ドル	1.4%
メキシコ・ペソ	1.4%
その他	16.2%

平均為替レート

	2014 年度 第 3 四半期	2015 年度 第 3 四半期	前年度比	2015 年 9 月 平均
ユーロ/ドル	1.33	1.11	-16.5%	1.12
ユーロ/円	137.74	135.89	-1.3%	134.85
ユーロ/元	8.17	7.01	-14.2%	7.15
ユーロ/ルーブル	48.08	70.46	+46.5%	74.80

付録 6: 研究開発パイプライン

申請中

N	<p>リキシセナチド GLP-1 受容体作動薬 2 型糖尿病、米国</p>	<p>デング熱 軽度から重度までの デング熱に対するワクチン</p>
		<p>PR5i DTP-HepB-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、 B 型肝炎、ポリオ、ヒブ) 小児用 6 種混合ワクチン、米国、EU</p>
		<p>VaxiGrip® QIV IM 4 価不活化 インフルエンザワクチン(3 歳以上)</p>

第 III 相

N	<p>LixiLan リキシセナチド+ インスリンラリギン 固定比率合剤/2 型糖尿病</p>	N	<p>patisiran (ALN-TTR02) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイドポリニューロパチー</p>	<p>クロストリジウム・ディフィシル トキシイドワクチン</p>
N	<p>SAR342434 インスリンリスプロ 1 型・2 型糖尿病</p>	N	<p>revusiran (ALN-TTRsc) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイド心筋症</p>	<p>ロタウイルス 経口弱毒化 4 価生ロタウイルスワクチン</p>
N	<p>sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 関節リウマチ</p>	<p>ジェブタナ®(一般名:カバジタキセル) 転移性前立腺がん(一次療法)</p>		<p>VaxiGrip® QIV IM 4 価不活化 インフルエンザワクチン(3~36 カ月)</p>
N	<p>dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 アトピー性皮膚炎、喘息</p>			

第 II 相

	<p>dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 鼻ポリープ 好酸球性食道炎</p>	N	<p>isatuximab 抗 CD38 モノクローナル抗体 多発性骨髄腫</p>	<p>狂犬病 VRVg 精製ペロ細胞狂犬病ワクチン</p>
N	<p>SAR156597 IL4/IL13 二重特異性モノクローナル抗体 特発性肺線維症</p>	N	<p>GZ402671 経口グルコシルセラミド合成酵素阻害剤 ファブリー病</p>	<p>髄膜炎菌(4 価 ACYW) 結合型ワクチン 第 2 世代の髄膜炎菌結合型乳幼児用ワクチン</p>
	<p>sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 ブドウ膜炎</p>	N	<p>olipudase alfa rhASM ニーマンピック病 B 型</p>	<p>結核 遺伝子組換えサブユニットワクチン</p>
N	<p>併用療法 ferroquine / OZ439 抗マラリア薬</p>			<p>Fluzone® QIV HD 4 価不活化 インフルエンザワクチン—高用量</p>

第 I 相

N GZ402668 GLD52 (抗 CD52 モノクローナル抗体) 再発性多発性硬化症	N SAR566658 メイタンシン搭載抗 CA6 モノクローナル抗体 固形がん	N SAR422459 ABCA4 遺伝子療法 シュタルガルト病
N SAR113244 抗 CXCR5 モノクローナル抗体 全身性エリテマトーデス (SLE)	N SAR408701 抗 CEACAM5 ADC 固形がん	N UshStat® ミオシン 7A 遺伝子療法 アッシュヤー症候群 1B
N SAR228810 抗プロトフィブリル AB モノクローナル抗体 アルツハイマー病	N SAR439684 PD-1 阻害剤 がん	N SAR366234 EP2 受容体作動薬 眼圧亢進
N SAR425899 GLP-1R/GCGR デュアル作動薬 糖尿病	N SAR428926 LAMP-1 阻害剤 がん	肺炎レンサ球菌 髄膜炎・肺炎ワクチン
N SAR438335 GLP-1R/GIPR デュアル作動薬 糖尿病	N GZ402666 neo GAA ポンペ病	単純ヘルペスウイルス 2 型 HSV-2 ワクチン
N SAR439152 ミオシン阻害剤 肥大型心筋症	N GZ389988 TRKA 拮抗剤 変形性関節炎	
	N SAR339375 抗 miR21 RNA アルポート症候群	
	N SAR439774 fitusiran (ALN-AT3) 血友病	

N: 新規分子化合物

付録 7: 見込まれる研究開発マイルストーン

製品	イベント	時期
デング熱ワクチン	流行国の規制当局の決定(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
Sarilumab	関節リウマチに関する米国での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
LixiLan	糖尿病に関する米国での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
PR5i ワクチン(ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ)	審査期間延長に関する生物学的製剤評価研究センター (Center for Biologics Evaluation and Research: CBER) の決定(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
LixiLan	糖尿病に関する EU での薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
dupilumab	アトピー性皮膚炎における第 III 相試験の重要な結果(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
PR5i ワクチン(ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ)	EU の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
髄膜炎(4 価 ACYW) 結合型ワクチン	第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
ロタウイルスワクチン	インドでの薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
インスリン リスプロ	糖尿病における第 III 相試験の重要な結果(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
リキシセナチド	米国の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
dupilumab	アトピー性皮膚炎における米国での薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 3 四半期
Sarilumab	関節リウマチにおける第 III 相 MONARCH 試験の結果(見込み)	2016 年度 第 3 四半期

付録 8: GAAP (一般会計原則) と異なる財務指標の定義

純売上高 (為替レート変動の影響を除く)

「純売上高 (為替レート変動の影響を除く)」の変化に言及する場合は、為替レート変動の影響が排除されていることを意味します。

為替レートの影響は、前期に使用された為替レートで当期の売上高を再計算することによって、排除されます。

2015 年度第 3 四半期および 2015 年度年初から 9 カ月の純売上高 (為替調整前) から純売上高 (為替レート変動の影響を除く) への調整

(単位: 100 万ユーロ)	2015 年度 第 3 四半期	2015 年度 年初から 9 カ月間
純売上高	9,591	27,779
為替レートの影響	-508	-2,200
純売上高 (為替レート変動の影響を除く)	9,083	25,579

純売上高 (グループ構成の変動要因を除く)

以下のとおり、前期の純売上高を修正することにより、グループ構成の変動の影響が排除されます。

- 買収の影響は、買収の対象となった企業から提供された売上高に関する情報に基づき、現在の期間 (企業または製品の権利が取得された期間) に相当する、買収された企業または製品の前期部分の売上高を含めることによって、排除されます。
- 同様に、企業または製品の権利を売却した場合には、該当する前年同期部分の売上高が排除されます。
- 連結方式の変更については、現在の期間に使用された方式に基づいて、前期部分が再計算されます。

事業純利益

サノフィは、GAAP (一般会計原則) と異なる主要指標を発表します。この「事業純利益」という指標は「特別項目を除いた調整後純利益」を置き換えるものです。

事業純利益は、当社株主に帰属する純利益から以下の項目を除外したものと定義されます。

- 無形固定資産の償却
- 無形固定資産の減損
- 合併に関連する偶発対価債務の公正価値での再評価
- 買収に関連するその他の影響 (関連会社に対する買収の影響など)
- 事業再編費用⁽¹⁾,
- その他の損益 (非流動資産の売却損益⁽¹⁾を含む)
- 訴訟に関わる費用または引当金⁽¹⁾
- 上記の各項目に対する税効果と主要な税務訴訟の影響
- 当社株主に支払った配当に対する課税 (3%)

⁽¹⁾ 連結損益計算書の Note B.20. で定義されているとおり、再編費用と売却・訴訟に関わる損益の勘定科目で報告されます。

サノフィについて

サノフィは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。サノフィはパリ (EURONEXT : SAN) およびニューヨーク (NYSE : SNY) に上場しています。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関するFDAやEMAなどの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの2014年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成したSECおよびAMFに対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。